

令和4年度学校関係者評価会

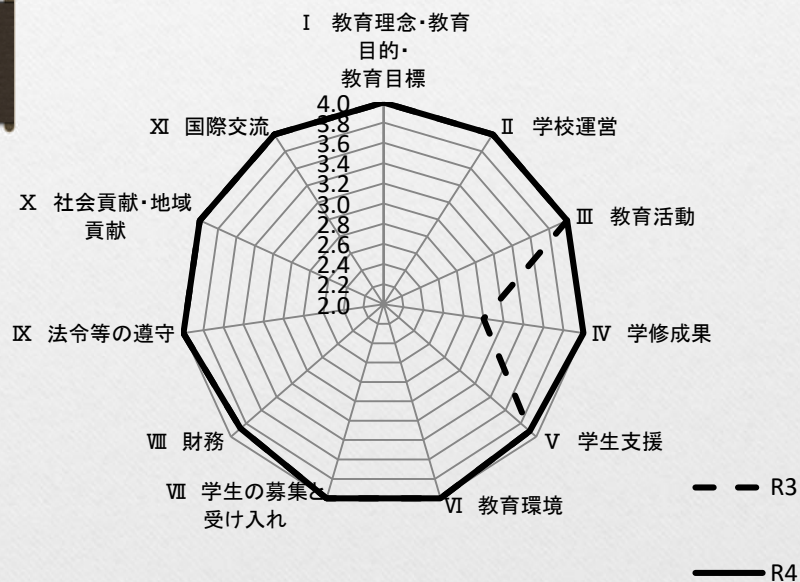
✿ 学校関係者評価会とは ✿

日本赤十字社の学校評価ガイドラインに基づき、学校教育活動や学校運営の状況について成果を検証した自己評価の結果等を、保護者を中心とした学校に関係の深い方々(学校関係者)に評価いただく会です。会を催すことで、関係者との共通理解を図り、教育の質の向上に向けて連携・協力が促進でき、赤十字教育施設としてのよりよい学校運営を追及することを目的としています。

教員から自己評価の結果・分析・課題やカリキュラムの運営、国家試験対策等を説明し、意見交換が行われました。



令和4年度 学校評価結果



大項目	中項目	評価項目	R4年度		R3年度	
領域 I	教育理念・教育目的・教育目標	1-1 教育理念・教育目的・教育目標	4.0	4.0	4.0	4.0
領域 II	学校運営	2-2 運営方針	4.0	4.0	4.0	4.0
		2-3 事業計画	4.0		4.0	
		2-4 運営組織	4.0		4.0	
		2-5 人事・給与制度	4.0		4.0	
		2-6 意思決定システム	4.0		4.0	
		2-7 情報システム	4.0		4.0	
		3-8 目標設定	4.0		4.0	
領域 III	教育活動	3-9 教育方法・評価等	4.0	4.0	4.0	4.0
		3-10 臨地実習	4.0		4.0	
		3-11 成績評価・単位認定等	4.0		4.0	
		3-12 資格・免許の取得の指導体制	4.0		4.0	
		3-13 教員・教員組織	4.0		4.0	
		4-14 就職率	4.0		4.0	
		4-15 資格・免許の取得率	4.0		4.0	
領域 IV	学修成果	4-16 卒業生の社会的評価	4.0	4.0	1.0	3.0
		5-17 就職等進路	3.5		3.5	
領域 V	学生支援	5-18 休学・退学への対応	4.0	3.9	4.0	3.9
		5-19 学生相談	4.0		4.0	
		5-20 学生生活	4.0		4.0	
		5-21 保護者との連携	4.0		4.0	
		5-22 卒業生・社会人	4.0		4.0	
		6-23 施設・設備等	4.0		4.0	
		6-24 防災・安全管理	4.0		4.0	
領域 VI	教育環境	7-25 学生募集活動	4.0	4.0	4.0	4.0
		7-26 入学選考	4.0		4.0	
		7-27 学納金	4.0		4.0	
領域 VII	学生の募集と受け入れ	8-28 財務基盤	3.5	3.9	3.5	3.9
		8-29 予算・収支計画	4.0		4.0	
		8-30 監査	4.0		4.0	
		8-31 財務情報の公開	4.0		4.0	
		9-32 関係法令・設置基準等の遵守	4.0		4.0	
領域 VIII	財務	9-33 個人情報保護	4.0	4.0	4.0	4.0
		9-34 学校評価	4.0		4.0	
		9-35 教育情報の公開	4.0		4.0	
		10-36 社会貢献・地域貢献	4.0		4.0	
領域 IX	法令等の遵守	10-37 ボランティア活動	4.0	4.0	4.0	4.0
		11-38 国際交流	4.0		4.0	
領域 X	社会貢献・地域貢献					
領域 XI	国際交流					

保護者からの意見

医療安全の視点(どんな内容がインシデントになるのか)がピンときていないようです

⇒ 2年次に医療安全の科目があり、先輩のインシデント事例を公表し、予防策等の話し合いをしています。学生から、具体的な内容が分かりにくく、ピンとこないとの声がありましたが、先輩の事例であり、提示できる内容には限界がある現状です

1年次から国家試験対策に取り組んでいて嬉しいです

⇒ 学校の勉強だけをし、実習に行っていれば国家試験に合格するというわけではなくなっています。国家試験に対しては計画的に取り組んでいます。授業時間外の時間も有効活用して、対策を実施しています

コロナワクチンを2回しか接種していませんが、良いのでしょうか

⇒ ワクチン接種は本人の意思に任せています。強制ではありませんが、できるだけオミクロン対応のワクチンを打つように促しています

今後も学校関係者と教職員との対話を通して、学校運営の改善と発展、教育水準向上の保証に努めてまいります

成人の集いに参加後、コロナ感染しました。リポート実習で補えましたが、毎年のことであり、日程調整してもらえればと思います

⇒ 2年生は成人の集いだけでなく、就活等で県外に行くことがあると思います。成人の集いに関しては今年度、集い後1週間をあけて各論実習を開始するように日程を調整しました。万が一、感染しても、学生に不利益が生じないようにリポート実習やホームワーク実習を行い、学びの機会が保証されるよう配慮しています

教科書がタブレットになり持ち運びしやすくなりました。実習先にも持っていけるといいと思います

⇒ 実習時に資料がないと学習効果が得られませんが、タブレットの持ち込みに関しては、インターネットに繋がってしまうため、個人情報の漏洩に繋がる危険性があります。今後実習施設と協議していく予定です